

件名

令和3年度コミュニティ交流会について

日 時：令和3年11月27日（土） 9時30分～12時00分

場 所：市民福祉プラザ5階

参加者：合計48名（40町内会）

対 象：260町内会

中央地域：83町内会（上町地区・中央地区）

谷山地域：51町内会（谷山地区）

伊敷地域：44町内会（伊敷地区）

松元地域：51町内会（全域）

郡山地域：31町内会（全域）

会次第：別紙のとおり

【意見交換による5グループの事例等の発表】**A・Bグループ（発表者：上之園町町内会）**

- ・高齢者が多く活発な活動が難しい。
- ・行政と町内会が町内会の魅力を共有することが重要。
- ・グループ内で町内会の実情に差があり意見の集約は難しかった。
- ・地域で世代間のつながりが希薄化していることが問題である。
- ・条例を制定してはどうか。

Cグループ（発表者：坂之上東前町内会）

- ・日が経つと町内会加入の必要性を訴えにくくなるため、新しい世帯が転居してきたらベテランを連れて即訪問するのが良い。
- ・「ごみステーションは市が管理しているため町内会に加入しなくてよい」という未加入者の認識が問題である。
- ・加入促進活動として、毎月5軒ずつポスティングをしている。
- ・町内会行事の際には、あいご会を通じて未加入世帯の子どもにもアプローチしている。
- ・役員について、輪番制より持ち上がりの方がうまくいくのでは。

Dグループ（発表者：向原町内会）

- ・脱退者を出さない工夫が重要である。
- ・ポスティングや戸別訪問による加入促進活動を行っている。
- ・町内会の活動内容や加入のメリットを伝えることが重要である。
- ・役員の負担軽減も目指していくべき。
- ・町内会同士の意見交換も重要である。

Eグループ（発表者：おとめ座町内会）

- ・現状：加入率80%程度
- ・子どもから高齢者までみんなが暮らしやすい町づくりを目指している。
- ・役員の輪番制について、会長の役をおりてもその他の役として次年度も町内会運営に携わってもらいと引き継ぎ等もスムーズに行く。

内
容

- ・市との連携、協力により町が改善している実績がある。
- ・転入者に対して、総会資料や市の資料等を持参して戸別訪問している。
- ・転入者の利便性向上のためにごみステーションを再整備した上で戸別訪問をすると良い。

F グループ（発表者：仁田尾中自治公民館）

- ・転入者に対しては転居したら即戸別訪問するのが良い。
- ・個人情報は無理に提出させない柔軟性も重要である。
- ・「数が少ない」などごみステーションの課題について、未加入世帯にも相談に行き巻き込むことで、加入に繋がる事例もあった。
- ・戸別訪問用の粗品も素敵なアイデアや加入に繋がるような工夫が必要である。
- ・町内会加入のメリットや意義は丁寧に説明していくことが重要である。

G グループ（発表者：石谷東自治公民館）

- ・町内会＝敬老会になりつつある。
- ・加入促進よりも脱退者を防ぐ工夫が重要である。
- ・校区社協等の設立により現代では町内会の存在意義が薄くなりつつあるため、活動内容等を見直し、必要とされる町内会づくりをしていくことが重要である。
- ・地域の得意なことを活用して地域のオリジナリティを町内会の強みにすると良い。
- ・高齢者の免許返納に伴う電動カーの購入に対して補助金が出ると良い。
- ・市からの文書配布の方法等を見直して、役員の負担軽減をしてほしい。
- ・市職員の加入率はどのくらいか。また、算出方法は適切か。
- ・市役所入庁の際に加入の有無を確認する、市営住宅入居の際に加入を条件にするなどの対策はどうか。